復興城主・熊本城災害復旧支援金の活用状況
＜平成２８年度～令和４年度分＞

熊本地震により大きな被害を受けた熊本城の復旧・復元のために心温まるご寄附をいただいており、誠にありがとうございます。

国内外からの多くの皆様のご厚意により、平成２８年度から令和４年度末までの間に、**総額約５４．９億円**のご寄附をいただき、熊本城の復旧・復元に向け、以下の事業等に活用させていただきました。

引き続き熊本城の完全復旧に向けて取り組んでまいりますので、今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

天守閣

熊本地震からの復興のシンボルである天守閣は、大天守最上階の瓦がほとんど落下し、下階の瓦に被害を与えたほか、石垣も崩落するなど大きな被害を受けましたが、令和３年（２０２１年）３月に復旧が完了しました。

また、復旧した天守閣には、地震の教訓も踏まえて建物の耐震補強・石垣の安全対策を行うとともに、バリアフリー化の一環として誰もが天守閣最上階まで上がれるよう新たにエレベーターを設置し、さらには展示・内装もリニューアルしました。

特別見学通路

特別見学通路は、地上から約６ｍの高さからの新しい視点で、二様の石垣とともに見る天守閣の姿や飯田丸・竹の丸等の石垣の被災状況、東竹の丸の重要文化財櫓群などを観覧いただける新たなルートとして、令和２年（２０２０年）３月に完成しました。

重要文化財建造物

長塀は、熊本地震により塀の東側約８０ｍが大きく倒壊したほか、倒壊部分以外も傾斜しましたが、令和３年（２０２１年）１月に工事が完了し、国指定重要文化財では初めての復旧となりました。

また、平櫓等その他の重要文化財建造物の解体保存工事や櫓下部の石垣の解体・復旧工事などを行いました。

復元建造物（天守閣を除く）

“奇跡の一本石垣”と呼ばれた飯田丸五階櫓の倒壊防止のための緊急対策工事や櫓の解体保存、石垣の解体・積みなおしなどを行いました。

石垣

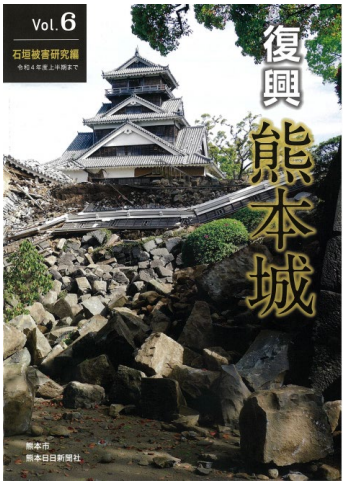
熊本地震により被害に遭った石垣を元の姿に戻すために、西大手門周辺や奉行丸南側の崩落した石材を回収・運搬し、安全に城内を観覧いただけるよう、一時的な安全対策を行いました。

（回収前：↑西大手門　↓奉行丸）

（回収後：　↑西大手門　↓奉行丸）

公開・活用

平成３０年に策定した熊本城復旧基本計画に基づき、熊本城の復旧過程の段階的公開、来城者の安全確保のための警備、震災の記憶を次世代に語り継いでいくための復興の記録誌作成等を行いました。



熊本城復元整備基金の活用状況

年度	活用額	主な活用事業
Ｈ２８	約　１．８４億円	・飯田丸五階櫓緊急対策工事 ・本丸御殿被害調査等業務委託
Ｈ２９	約　６．８４億円	・飯田丸五階櫓復旧整備工事 ・天守閣復旧整備工事
Ｈ３０	約　６．４０億円	・天守閣展示改修業務委託 ・合同庁舎跡地外暫定整備設計業務委託 ・行幸坂地質調査業務委託
Ｒ１ （Ｈ３１）	約２６．２８億円	・特別見学通路整備工事 ・天守閣復旧整備工事 ・合同庁舎跡地外駐車場整備工事
Ｒ２	約１４．１１億円	・天守閣展示改修業務委託 ・天守閣復旧整備工事 ・特別見学通路整備に伴う取付部整備工事
Ｒ３	約　２．２７億円	・旧細川刑部邸復旧設計業務委託 ・熊本城天守閣屋外照明設備改修工事 ・熊本城天守閣前広場舗装等暫定整備工事
Ｒ４	約　１．２４億円	・旧細川刑部邸復旧設計業務委託 ・熊本城内サイン看板等更新業務委託 ・長塀及び特別見学通路周辺屋外照明設備改修工事

※日本財団からの支援金約２６．２４億円を含む

皆さまからいただいた寄附金は、熊本城復元整備基金に積み立て、左表のとおり総額約５８億円（日本財団からの支援金を含む）を熊本城の復旧・復元のために活用しています。

今後とも引き続き熊本城への支援をお願いいたします。